

## 瀬教労30年のあゆみ

瀬教労は、1992年3月29日発足しました。30年間の活動を振り返ってみます。

### 瀬教労結成!

1992年3月29日(日)、瀬戸市民会館において瀬戸市教職員労働組合(略称・瀬戸市教労)が結成されました。尾東労連をはじめ各地教職員労働組合からの連帯・励ましのメッセージをいただき、力強く第一歩を踏み出しました。

4月8日(水)瀬戸市公平委員会で登録手続きをし、5月1日メーデーの日に正式に職員団体として認められました。

### 瀬戸市教職員労働組合 結成大会

日時：1992年3月29日  
(日)午後1時  
会場：瀬戸市市民会館

加藤敏晴 執行委員長



記念撮影



大会後の懇親会



### 瀬戸市教職員労働組合 結成宣言

わたしたち教職員は、子どもたちに、生きることのすばらしさ、学ぶことの喜び、仲間と共に成長しあう力をしっかり身につけさせたいと願っています。  
これは、同時に父母の子どもによせる切なる願いです。

しかし、現実の子どもたちは、生きることにつかれ、学ぶことに苦しみ、仲間とバラバラにされています。  
こうした背景には、政府・文部省が進める臨教審路線があり、それに追従する「連合路線」があります。

日教組は、この「連合」に参加して以来、臨教審路線反対の立場を事実上放棄し、「教え子を再び戦場へ送らない」という旗も投げ捨てようとしています。

そのような中、愛知県下では、愛教組にかわる新しい県教組を展望しての組合づくりがすすめられています。すでに、尾張地区においても新組合が次々に結成され、意気高く活動が繰り広げられています。

ここの瀬戸市でも、臨教審路線に反対し、子どもと教育、教職員のくらしと権利を、そして平和と民主主義を守る、新しい頼りがいのある組合がどうしても必要になっていま

す。  
今日ここに同じ志を持った者が集まり、瀬戸市教職員労働組合(略称瀬戸市教労)を結成します。

学校を「人間らしさにあふれるところ」に、「子どもたちが安心して希望のもてるところ」に、「教職員が、子どもたちといつも心を通い合わせるところ」にしましょう。わたしたちは、そのために、教師と父母と手をつなぎ、心を結び合わせ、小さな呟きを要求運動にまとめ、その実現に向かって全力をつくします。

1992年3月29日



### 【大会へのメッセージ】

尾北教職員労働組合

執行委員長 菊川 常雄

結成大会おめでとうございます。心から連帯のご挨拶を申し上げます。

いま、日本の政治、教育をめぐる情勢は、PKO法案の再浮上、新学習指導要領、日の丸・君が代の強制などによって、重大な事態になっています。

この緊急事態において、「連合」日教組、「連合」愛教組には、これらとまともに闘う姿がみられません。  
このような時期に闘う労働組合が、新たに誕生すること

は、きわめて重要な意義があると思います。

PKO法案を完全に廃案にし、新学習指導要領を白紙撤回させ、日の丸・君が代の押しつけを跳ね返し、憲法・教育基本法の精神にのっとた教育を推進するための運動が、今まさに強くもとめられています。

私たちが尾北教職員労働組合は、少教ではありますが、組合員の要求をもとに、教育長交渉や校長会交渉をすすめて、ハイキングをしたり、多種多様な運動をすすめています。

「教え子を再び戦場に送らない」の旗を高く掲げ、子どもたちに、「生きる力を育てる教育」を進めるため、そして、そのために働く教職員の利益を守り、発展させるため、ともに頑張りましょう。



